

(様式2)

支 部 事 業 報 告 (黒部・魚津、上市支部合同研修会)	開催日 2020年11月7日(土)
	時間 10:00～12:00
	場 所 新川文化ホール
テーマ	「看護連盟の現状と課題・統基礎研修」「20年後 何を食べていますか」
参加対象者	会員・非会員
参加人数	54名
事業目的	看護連盟の役割を理解し、連盟活動の意義を学ぶ
研修会名	黒部・魚津、上市支部合同研修会
主 催	富山県看護連盟 上市支部、黒部・魚津支部
研修方法	講演

【内 容】

10:05～10:50 講演 「看護連盟の現状と課題・統基礎研修」
講師 富山県看護連盟会長 三谷順子



- * 三谷会長の講演はとてもわかりやすかった
- * 連盟活動が理解でき、選挙に行こうと思った。
- * 連盟設立60周年記念のペントライト、楽しみです

11:00～11:45 講演 「20年後のあなたは 何を食べていますか？」
講師 厚生連滑川病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 藤井友子氏



- * 感動する内容でした。今後の看護に役立てたいです。

まとめ:

三谷会長の講演で、看護連盟の活動に対する理解を深め、私たち看護職の代表を国会に送ることの重要性を広めることができた。
アンケートにもあったように、看護の現場は人員不足をはじめ問題が山積している。
政治に興味、関心を持たない看護職が多いなか、何が現場の問題から政策に上がっているか、もっと政治を身近に感じてもらえるよう、さらに連盟活動を進めていく必要がある。

【アンケート結果】

看護連盟合同研修アンケート

1 看護連盟の活動の必要性について理解できましたか？

①できた 36名 ②ややできた 7名 ③できなかつた 0名

2 あなたは日頃、連盟活動に関心を持っていますか？

①持っている 12名 ②やや持っている 24名 ③持っていない 7名

3 今後看護連盟に希望する研修会を教えて下さい。

- ・政治と看護について。Webで4名の議員と会話し、現在話し合われていることや取り組みについて聞いてみたい
- ・協会の目的を、連盟の活動を通して実現した事例の紹介。
- ・認定、特定看護師について
- ・感染症対策について(コロナ・インフルエンザなど)
- ・ターミナル、看取りについて
- ・教育研修とリフレッシュ研修を併せたもの。ヨガ、ストレッチなど。
- ・接遇、クレーム対応について。

4 本日の研修会で感じたことをお聞かせください。

講演 「看護連盟の現状と課題・統基礎研修」について

- ・ホームページを見ようと思った
- ・連盟の働きがわかり久しぶりに研修に参加して良かった
- ・政治と看護がつながっているんだなと思って選挙に行くことは大切だなと思いました
- ・再度、連盟について確認できました
- ・看護連盟の活動をより近くで感じることができた
- ・看護連盟の働きと看護師の要望をどのように反映されてきたのかがわかつてよかったです
- ・看護職の代表を国会に送り出す必要性を改めて知ることが出来ました。ありがとうございました。
- ・改めて政治力の大切さを痛感。自施設に戻りスタッフにも声をかけ興味を持つてもらいたい
- ・看護の質の向上のため働き続けられる職場環境のため連盟活動の大切さを共有していきたい
- ・ゆっくりした語りで過去から現在の歴史がとてもわかりやすかったです
- ・上司の勧めで初めて参加し、連盟というものの(活動内容や必要性)について理解できた
- ・会長の熱い思いが伝わってきました
- ・石井さんは残念でしたが、多大な功績をのこされたことがよく理解できた
- ・連盟の長い歴史について学ぶことが出来た。自分たちの意見を少しでも反映されるように活動に関わっていきたいと思う。もっと看護のことを一般の方に理解していただけるといいと思った。
- ・みんなで声を上げること、そのことに対して動いてくれる人の大切さを感じた
- ・会長の話が分かりやすかったです
- ・看護と政治の関係がよくわかつて良かつたです
- ・連盟について、再認識と理解しました。ペンライトありがとうございます
- ・県に支えられている。政治との結びつきを感じた
- ・連盟に入会していない看護師に参加してほしい内容でした
- ・選挙に行こうと思いました
- ・普段あまり連盟に対し関心をもっているわけではないが、本日会長さんの話を聞いて少し身近にわかりやすく聞くことができた
- ・連盟に入ってない人も聞いてみればよいと思った。
- ・今現在の制度や、私たち看護師のための制度は、様々な過程を経て公布されている事やそのために、現場の声を議員の方が届けて活動してくださっていることが改めて理解できました。看護連盟の一員として、自分たちの未来のためにも、現場の声を届けよう。まずは、連盟活動の理解を深めたいと思いました
- ・当院でも40代や50代の看護師(特に主任看護師や中堅レベルの看護師)が連盟会員を脱退する方が多く、後輩として見ていて悲しく、連盟の活動を全く理解されいないなと感じます。連盟会員でない方にこそ今回のような研修に参加して頂くべきだとおもいました。
- ・研修に参加させて頂いたことで連盟の事がよく理解できました。行政や財政の事、法律が出来る仕組みなど今の自分がこのように働けるのも連盟の働きかけが多々あることがわかりました。三谷会長の話がおもしろく、わかりやすく興味がわいた。現場に伝えたいと思いました。様々な活動を知り「連盟頑張っているな」と改めて思いました。いつもありがとうございます。

講演「20年後のあなたは 何を食べていますか？」について

- ・知識が増えた、実践で今後役立てることができる内容でした。
- ・今まさに自分が感じていて出来ずにいることだったのでとても勇気づけられ
今後に活かしていきたいと思いました。
- ・感動しました。ありがとうございました。「こうしなければ退院できない」という看護師が多い中
「自分たちにもできる」という言葉をみんなに聞かせてあげたいです。
- ・わかりやすく今後に役立てていきたいと思いました。
- ・私自身もCNとして活動しているので刺激をもらいました。
- ・嚥下の仕組みから具体例まで大変わかりやすかったです。
- ・病院の取り組み、認定看護師としての働きなどよくわかった。
- ・日頃食べてももらうことに必死になり、食べる楽しみを大切にしたい。
- ・講義がわかりやすかったです。
- ・摂食嚥下は、とても興味があるので講義が聞けて良かったです。ゆっくり食事介助してあげたいが
2人夜勤でマンパワー不足。患者さん、ごめんなさい状態です。
- ・藤井認定さんの講義がとても素晴らしかったです！！

全体を通して

- ・研修会は充実したものとなつたが、休日に行うのは辛い。
- ・改めて自分の仕事を振り返ることができた。
- ・今回GWがありませんでした。各施設での問題や意見が聞けず少し残念でした。
- ・いろんな情報を聞けたので良かった。
- ・とてもよかったです。
- ・やさしい研修で良かったです。

5 2020年度のスローガンは「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」です。「現場の声」を行かせて いただき、今後の活動に繋げていきたいと考えています。現場での悩み・要望などあれば、 具体的に記載してください。

- ・マンパワー不足やインシデント、職場風土などの問題に日々悩んでいます。職場環境の見直しや改善への取り組みの方法を知りたいと思っています。
- ・三次救急の病院で病床数60床を見るのは身体的・精神的に辛い。
- ・新人や経験年数の少ない看護師が多い中、少ない中堅看護師への役割や精神的負担が増え
今後、看護師を続けていく魅力や活力になるようなものが一つでもあればと感じる。手当や給料が増えたり、人員確保などを行ってほしい。
- ・明らかに人員不足。業務量が多くて患者さんことを一番に考えることができない。看護の質の低下を感じ、モチベーションが上がらない。
- ・委員会業務など、時間外にしかできない業務が多く「ワークライフバランス」が取れていない。
上司もそのようなことに対する配慮がなくなった。
- ・業務改善(経費削減)により、土日には半夜勤という勤務があり、意に沿わない年次休暇を取らなければならない。通常の年次休暇が取れない状況なのに、その年次休暇の積み重ねで年休を取れていると判断されることは困る。
- ・コロナ病棟に人材が取られて一般病棟の人員減に伴い残業時間が増えています。
- ・2人夜勤で、休憩も取れずトイレも行けず…どうしたらいいか。
- ・現場の声を職場内で上司に伝えようとしても、リーダーや補佐の段階でつぶされてしまう。直に上司に伝えて「リーダーにまず、伝えろ」と言われ、何の解決にもならない、働きにくい。
上司からのパワハラがあるので、スタッフは意見が言えない。本当の現場で働いているスタッフの声を聞いてほしい。
- ・人権法について…一般の方はもちろん、施設内の他職種の方々にも理解していただきたい。
医療が複雑化、効率化を進めている中で、患者・家族のニーズに添えない。過大な要望で苦しい局面があります。社会の理解、施設内の理解と協力を望みます。
- ・2交代になりましたが、その代わりに長日勤というのが増えて、1日12時間労働が増えたのがとてもつらいです。人員増加してほしいです。
- ・コロナ対策の医療従事者手当は、医師ばかり出されていてナースは書いても消されました。
実際にコロナの検査や問診などで接してもです。労働環境もどんどん悪くなっています。
休憩も取れません。残業しても、つけるな という圧力があります。そういう看護師を監視することは出来ないのでしょうか。未来がありません。